

22年度診療報酬改定で画像誘導放射線治療加算300点が保険収載されたこともあり、画像誘導放射線治療（IGRT）を実施する施設が増えてきました。しかし、IGRTにかかせないCBCTの画像は計画CTに用いるMDCTの画像に比べ見え方に大きな違いがあり悩むことがあります。今回の研究会ではCBCTを用いることでは先輩格の血管造影分野にて画質の研究をされています名古屋大学医学部附属病院の西本卓也先生とKVCT、MVCTのどちらのノウハウもお持ちであるシーメンス・ジャパン株式会社 新井田紀光先生、池田茂一先生をお招きしてCBCT画像の成り立ち、特性、MDCTとの違いなどを皆で一緒に考えていきたいと思い企画しました。多数のご参加をお待ちしております。

座長：浜松医療センター 杉村 洋祐
聖隷浜松病院 山田 薫

講演1 名古屋大学医学部附属病院 西本 卓矢 先生

タイトル 【血管撮影装置CBCTの特性 ー画像構築から臨床技術までー】

講演2 シーメンス・ジャパン株式会社

イメージング&セラピー事業本部 AXビジネスマネージメント部

新井田 紀光 先生

タイトル 【アンギオ Cone-Beam CTの最新技術】

講演3 シーメンス・ジャパン株式会社

イメージング&セラピー事業本部 放射線治療ビジネスマネージメント部

池田 茂一 先生

タイトル 【リニアック MVCTについて】